議員行政視察報告書

議員名	塩尻 英明
視 察 地	幌加内町
視察年月日	令和7年1月23日

視察内容(目的・具体的内容・成果等)

低コストバイオコークス製造技術の実証事業について

■目的

幌加内町が進めているバイオコークスの実証実験について学ぼうとするもの

■視察内容

幌加内町はきたそらち農業協同組合、エア・ウオーター株式会社、JFE条鋼株式会社、株式会社巴商会と連携し低コストバイオコークス製造技術の実証事業を開始している。北海道のゼロカーボン・イノベーション導入事業支援事業に採択され、補助金を活用しながら取組んでいる。現在までに大きさや形状など試行錯誤しながら進めており、もうすぐ新しい製造機を取り入れるようで、コークスの製造時間がかなり短縮され、1日に製造できる量も増える。

ペレットでは800℃程度までしか温度が上がらないが、コークスでは風量を変えることで1450℃以上でも使うことができ、業種によっては需要がある企業も少なくないはずだとのこと。また、元々焼却して廃棄していたものをコークスとして使用しているため、二酸化炭素の還元率も相当高くなっている。CO2 削減に向けた取組みが進むなか環境に最も適しているとも言える。

以前から下水汚泥を肥料にするという取組みを推進してきているが、下水汚泥をコークスにすることも可能であるようだ。しかも、燃料として使用した後の灰を肥料化することもできるため、汚泥肥料では肥料の形成が課題であったところ、灰になったコークスを肥料にすることで課題を解決することができる。

きたそらち農業協同組合の田丸代表理事は、乾燥機以外は7千万ほどで購入できるの だから早く始めた方が良いと強く念を押していた。

■成果等

下水汚泥だけではなく、もみ殻をはじめ野菜の皮など様々な原料となる廃棄物がある。旭川市でもできる限り早い段階で活用ができるよう取組むべきである。